

学校給食センター照明器具取替工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E- 0 / 6	表紙、図面リスト	--
1 / 6	電気設備工事特記仕様書（１）	--
2 / 6	電気設備工事特記仕様書（２）	--
3 / 6	配置図、附近見取図	1 : 3 0 0
4 / 6	照明器具参考姿図、特記	--
5 / 6	電灯設備 平面図（改修後）	1 : 1 0 0
6 / 6	電灯設備 平面図（撤去）	1 : 1 0 0

一般共通事項

28 接地極

29 アスベスト含有建材の処理

30 室内空気中の化学物質の濃度測定

31 火災保険等

32 グリーン購入

1 電気設備

2 動力設備

3 雷保護設備

4 受変電設備

5 電力貯蔵設備

6 発電設備

7 情報表示設備

接地極の材料は次による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
● 共同接地	E A E D	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
● 共同接地	E A E C E D	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
● A 種	E A	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
● B 種	E B	Ω以下	E B × 2 連－2 組
● C 種	E C	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
● D 種	E D	100Ω以下	E B × 1
● 雷保護設備用	E L A	Ω以下	● E P－0.6×2 ● E B × 連－組
● 高圧避雷器	E L H	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
● 交換機用	E t	Ω以下	E B × 3 連－1 組
● 通信用	E A t	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
● 通信用	E D t 及び E D a	100Ω以下	E B × 1
● 電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B × 1
● 測定用	E o	－	E B × 1

(連結又は単独の場合、E BはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)
(測定用の場合、E BはD=10 L=1500 または W=30 L=1200とする)

建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。
※ 官公署その他の手続きは、建築改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。

- 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。
分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
- アスベスト粉じん濃度測定を行う。
(測定時期：測定場所：測定点：)
- 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。
- 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所（）

実施する。
工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加する。
(保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。)

グリーン購入は次のものとする。
● 照明制御システム ● 変圧器 ●

1 照明器具

2 一般照明の照度測定

3 非常用照明の照度測定

4 照明制御の照度測定等

1 機器への接続

1 大地抵抗率の測定

2 外部雷保護設備接地システム

1 変圧器移動車輪

2 デマンド監視装置

3 予備品等

4 盤内照明

1 交流無停電電源装置(UPS)

1 自家発電装置

2 太陽光発電装置

3 風力発電装置

1 マルチサイン装置

2 出退表示装置

3 時刻表示装置

1 LED及び蛍光灯の光源色は下記による。
LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 電球色)
コンパクト形ランプの光源色 (※ 昼白色 ● 電球色)
2) Hf形蛍光灯器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧(100V～242V)に対応するものとする。
測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)
※ 設置した各部屋2箇所以上 ●
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定時期 100点/灯時(※ 夜間 ● 昼間) 調光制御点/灯時(※ 夜間 ※ 昼間)

※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事

● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。
● 構造物利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極

75kVA以上に取付。
● 本工事 ● 別途工事 ●
標準仕様書によるほか、電力ヒューズ現用定格値のものを現用数
前・後に設置する。

停電補償時間(分)
方式(● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)

運転時間(h) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)
出力(kW) 配電盤外箱(● 有 ● 無)
保安装置(重故障項目特記● 有 ● 無) 外部用端子(● 要 ● 不要)
減圧水槽及び初期注水槽の材質(● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製)
オイルタンク(● 地下 ● 屋内)
据付：機械設備工事標準図(● 施工30、32(タンク室有り) ● 施工31、33(タンク室無し))
燃料小出槽(注)：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは過過形接点とする。
材質(● 鋼板製 ● ステンレス製)
燃料油等(● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス())
排気系統配管断熱材の厚さ(mm) ばい煙測定口(● 設ける ● 設けない)
排気ガスに含まれる窒素酸化物(以下) 運転音(dB以下)
系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 低圧みなし連系)
公称最大出力(kW) 耐風速(m/s)
パワコンディショナ(相線式 V) 定格容量(kW)
自立運転機能(● 有 ● 無)
表示装置(● 有 ● 無) 方式(※ 液晶 ●)
系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力(kW)

イメージキャナ(● 設ける ● 設けない)
制御装置(● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形)
呼出機能(● 有 ● 無) 方式(● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
観時計(● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線)
太陽電池式屋外時計(点灯時間 h 点灯保証日数 日)

1 交換機

2 保安器用接地

3 壁付電話機との接続

4 回線数

5 電話機

6 電話機への配線

9 映像音響設備

10 拡声設備

11 誘導装置

12 火災報知設備

13 構内配電線路

14 構内通信線路

15 テレビ

1 機器取付高

電力共通

16 その他

電気時計

拡声

局線応答方式(● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式)
停電補償時間(分)
※ 本工事 ● 別途工事
※ モジュージャック ● 電話用プレート
内線 / / 回線 局線 / / 回線(現用/実装/容量)
● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台
● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台
卓上電話機1台につき次のものを見込む。
● ボタン電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)
● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●)
● 多機能電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)
● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)

光出力(● I形 ● II形 ● III形) 解像度(● A形 ● B形 ● C形)
コントラスト比(● X形 ● Y形)

形式(● 卓上形 ● ラック形) 定格出力(W) 性能(● Hi形 ● Lo形)
● 増幅器の入出力配線と外部配管(壁ボックス等)の接続はコネクターによる。

検出方式(● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)

受信機(● 型 級 回線(番機型) ● 複合形 ● 単独形)
● 防火戸用(※ ラッチ式 ● 磁磁式)
● 防煙ダンパー用(※ 電動復帰 ● 手動復帰)
● 防火シャッター用(※ 別途工事 ● 本工事)
検知器(● 天井取付形 ● 壁取付形)

埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。
● GL-600以上(● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●)
ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。
● 閉鎖形(● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡絶電器付(※ 方向性 ● 無方向性)
※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。
高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策(熱縮縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。
● 一般形 ● 耐塩形
※ 高圧 ● 低圧
照明用ポールには配線用遮断器(トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。

埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。
● GL-600以上(●)
ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。
● データ回線 ● 電話 ● CATV ●

図面に記載されていない事項は、すべて(一社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けること。
※ 事前 ● 中間 ● 事後
中継局 波： 地点
中継局 波： 地点
※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部

1 機器取付高
機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

名 称	測 点	取付高(mm)
取引用計器	地上～意中心	1,800～2,000
引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
分電盤	床下～中心	1,500(上端1,900以下)
スイッチ	〃	1,300
〃(多機能トイレ)	〃	1,100
コンセント(一般)	〃	300
〃(和室)	〃	150
〃(台上)	台上～中心	150
〃(土間)	床下～中心	800～1,300
〃(車椅子用)	〃	900
ブラケット(一般)	〃	2,100～2,300
〃(踊場)	〃	2,000～2,500
〃(鏡上)	鏡上端～中心	150
壁掛形制御盤	床下～中心	1,500(上端1,900以下)
手元開閉器	〃	1,500
操作スイッチ	〃	1,300
端子盤	床下～下端	300
保安器箱	天井下～上端	200
壁付アウトレット	床下～中心	300
〃(和室)	〃	150
壁掛形観時計	床下～中心	1,500(上限1,900以下)
子時計	〃	天井高×0.9
壁掛形スピーカ	床下～中心	天井高×0.9
壁付アッテネータ	〃	1,300

2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めること。

Ⅲ 機材等

この工事に使用する機材は下記に記載されているものの他、同等品以上とする。
設計図書の製品番号は、特定の製品を限定しない。
同等品以上とする場合には、同等品承諾願いを提出し監督員の承諾を得ること。

品 名	製 造 業 者
1. 電 線	矢崎、日立、住友
2. 電 力 ケ ー ブ ル	同 上
3. 通 信 ケ ー ブ ル	同 上
4. 耐 火 ・ 耐 熱 ケ ー ブ ル	耐火・耐熱電線認定業務委員会の認定(JCMAマーク)の表示をしたもの。
5. 波 付 硬 質 合 成 樹 脂 管	古河電気、未来工業、カナフレックス
6. 鋼 製 電 線 管	パナソニック、丸一、日鉄
7. 硬 質 塩 化 ビ ニ ル 電 線 管	積水化学工業
8. 合 成 樹 脂 製 可 とう 電 線 管	パナソニック、古河電気、未来工業
9. 螢 光 灯	パナソニック、東芝、日立、三菱、大光、達磨
10. 白 熱 灯 ・ L E D	パナソニック、東芝、日立、三菱、大光、達磨、光電通通信
11. 非 常 用 照 明 器 具	上記製造業者のうち(財)日本建築センターの性能評価マークが貼付されたもの。
12. 誘 導 灯	上記製造業者のうち誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの。
13. H I D 灯	パナソニック、東芝、日立、三菱
14. 配 線 器 具	パナソニック、東芝
15. 高 圧 配 電 盤	かわでん、東芝、永井、日立、増岡、三菱、パナソニック、内外、豊島、小林、富士オートメーション
16. 低 圧 配 分 電 盤	同 上
17. 端 子 盤	同 上
18. 配 線 用 遮 断 器	パナソニック、東芝、日立、三菱、富士
19. 電 磁 開 閉 器	パナソニック、東芝、日立、三菱、富士、戸上
20. 保 護 継 電 器	パナソニック、東芝、日立、富士、オムロン
21. 水 位 継 電 器	パナソニック、日立、三菱、富士、オムロン
22. コ ン デ ン サ	パナソニック、東芝、日立、三菱
23. 変 圧 器 (高 圧 用)	同 上
24. 高 圧 遮 断 器	東芝、日立、三菱、富士
25. 高 圧 気 中 開 閉 器	東芝、三菱、戸上、エナジーサポート
26. 自家発電機(制御盤を含む)	東芝、日立、三菱、川崎、ヤンマー ただし防災用は左記のうち(社)日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの。
27. 蓄 電 池	新神戸、日本電池、GS } ただし建築基準法用及び消防法用使用する別置用のものは、左記のうち
28. 整 流 装 置	同 上 蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの。
29. 電 話 交 換 機 及 び 電 話 機	沖電気、日立、パナソニック、東芝、富士通 ただし(財)電気通信端末機器審査協会の認定を受けている旨の表示をしたもの。
30. イ ン タ ー ホ ン	パナソニック、東芝、アイホン
31. 火 災 報 知 装 置	沖、東芝、能美、ホーチキ、パナソニック ただし、日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの。
32. 自 動 閉 鎖 装 置	同 上 ただし、(財)日本建築センターの性能評価マークが貼付されたもの。
33. 非 常 警 報 装 置	同 上 ただし、非常警報設備認定業務委員会の認定証票が貼付されたもの。
34. 表 示 器	パナソニック
35. 電 気 時 計	パナソニック
36. 拡 声 ・ 非 常 放 送 装 置	TOA、JVCケンウッド、パナソニック、東芝 ただし、非常放送装置は非常用放送設備委員会の基準適合ラベルが貼付されたもの。
37. テ レ ビ 共 同 受 信 機 器	マスプロ、ホーチキ、パナソニック
38. ハ ン ド ホ ー ル	イーエムシー西部、インテックス、ランデス、オーコ、カナフレックス
39. 避 雷 針	大阪、日本
40. コ ン ク リ ー ト 柱	ダイニチ、日本ネットワークサポート、中国高圧
41. ケーブルラック・レースウェイ	ネグロス、パナソニック、東芝
42. ガ ス 漏 れ 警 報 受 信 機	矢崎、パナソニック ただし日本消防検定協会又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。
43. ガ ス 検 知 器	同 上 ただし、(財)日本ガス機器検査協会の合格証票又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。
44. セ キ ュ リ テ ィ ・ H A 機 器	東芝、三菱、山武、アイホン、パナソニック
45. 中 央 監 視 制 御 機 器	山武、ジョンソンコントロール、パナソニック

※ 送配電線の近くで作業するときは、前もって中国電力へ連絡すること。
※ 不許複製
※ (一社)鳥取県設備設計事務所協会 作成

有限会社 亀山設計

鳥取県米子市両三柳724番地11
一級建築士事務所 登録第05-1356号

CHECK

DRAWING

縮尺
A2: --
設計年月日
R 8 . 0 1

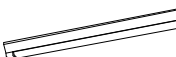
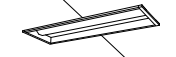
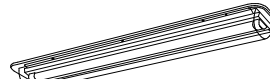
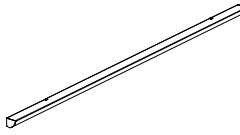
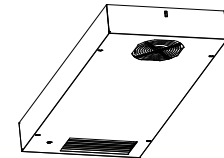
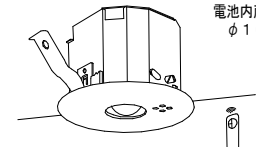
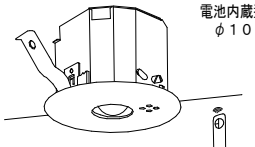
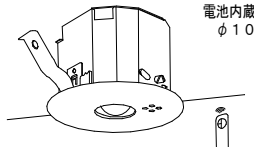
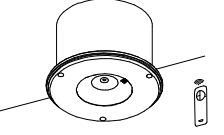
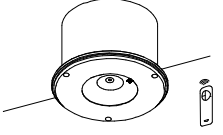
工事名称
学校給食センター照明器具取替工事

図面名称
電気設備工事特記仕様書(2)

図面番号
E-2/6
NO

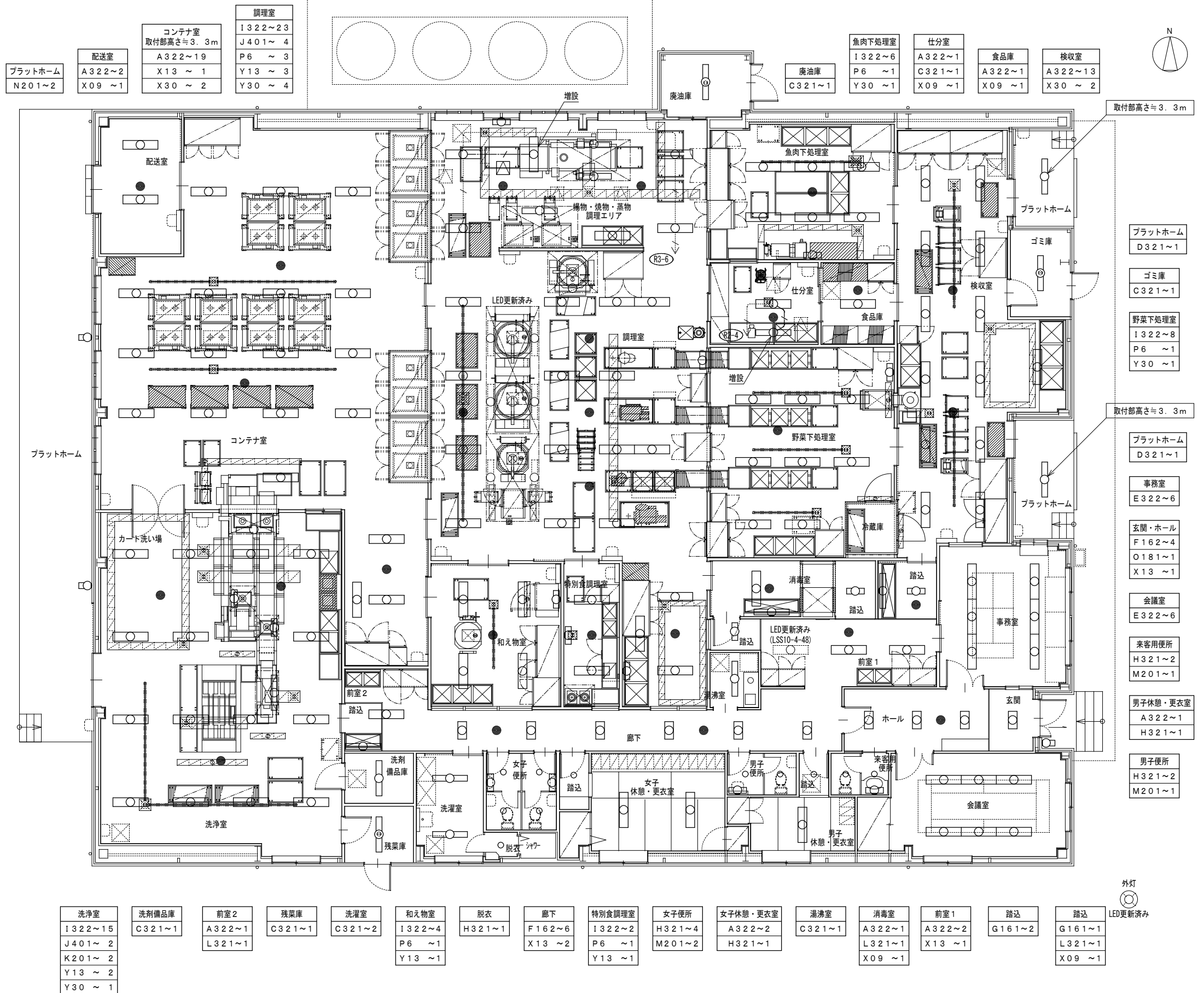
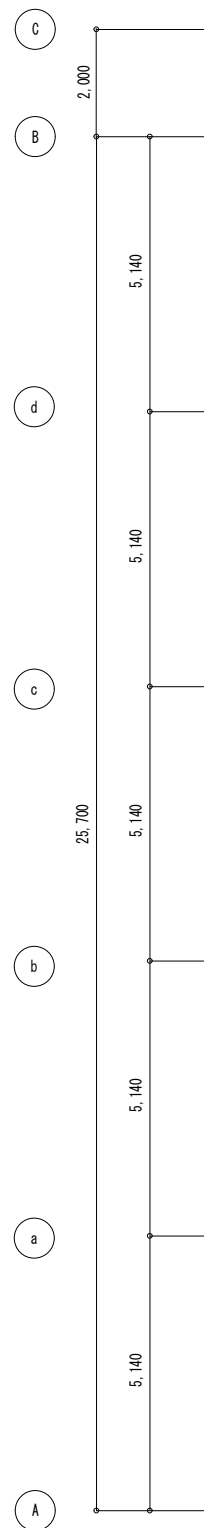
照明器具参考姿図 (図中品番は参考とする。)

※点検用リモコン×1台見込む
※消費電力は、J I S C 8105-3による

 LSS10-4-65 消費電力：43.1W	 LSS9-4-30 消費電力：20.3W	 LSS9MP/RP-4-30 消費電力：20.6W	 LRS3-4-65 消費電力：43.1W	 LRS3-2-30 消費電力：20.1W
A322 LED40形 露出型	C321 LED40形 露出型	D321 LED40形 露出型	E322 LED40形 埋込型	F162 LED20形 埋込型
参考品番	参考品番	参考品番	参考品番	参考品番
 LSS9-2-15 消費電力：11.6W	 LRS1-13 消費電力：11.6W	 器具光束6900lm 本体：亜鉛鋼板(高反射白色粉体塗装) カバー：アクリル(透明・帯電防止処理) ライトバー：ポリカーボネート(乳白) 消費電力：43.1W	 器具光束2520lm 本体：ステンレス(クリア塗装) 反射板：ステンレス(クリア塗装) 消費電力：20W	 器具光束950lm 本体：ステンレス(クリア塗装) 反射板：ステンレス(クリア塗装) 消費電力：12W
G161 LED20形 露出型	H321 LED150形 ダウンライト	I322 LED40形 露出型	J401 LDL40 露出型	K201 LDL20 露出型
参考品番	参考品番	参考品番	参考品番	参考品番
 Hf32形器具相当、器具光束2730lm カバー：プラスチック(乳白) サイドカバー：プラスチック (ホワイトつや消し) 壁面(横向け)取付専用 消費電力：22.8W	 FL20形器具相当、器具光束1350lm カバー：プラスチック(乳白) サイドカバー：プラスチック (ホワイトつや消し) 壁面(横向け)取付専用 消費電力11.7W	 LBFP3MP/RP-2-06 消費電力：10W	 IL40形器具相当、器具光束193lm カバー：アクリル(乳白)、(オフブラック) 消費電力：4.3W	 器体内照射・空気循環型、除菌方式：UV-C LED 本体カバー：白 消費電力：11.8W
L321 LEDミラーライト 壁付型	M201 LEDミラーライト 壁付型	N201 LED20形 壁付型	O181 LEDポーチライト 壁付型	P6 LED殺菌灯 壁付型
参考品番	参考品番	参考品番	参考品番	参考品番
 電池内蔵型 φ100 保守率：0.92 器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 単体配置 A1 3.8 4.0 4.0 2.8 直線配置 A2 8.5 9.4 9.9 10.1 四角配置 A4 6.9 7.6 8.1 8.9 K1-LRS11-1 非常灯評定番号：LALE-004	 電池内蔵型 φ100 保守率：0.92 器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m 単体配置 A1 4.2 4.6 4.7 4.9 3.3 直線配置 A2 9.3 10.2 10.8 11.9 12.9 四角配置 A4 7.4 8.2 8.7 9.6 11.7 K1-LRS11-2 非常灯評定番号：LALE-004	 電池内蔵型 φ100 保守率：0.92 器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m 5.0m 6.0m 単体配置 A1 5.4 5.9 6.3 6.9 7.9 8.7 6.4 直線配置 A2 11.3 12.7 13.5 15.2 18.6 21.0 22.8 四角配置 A4 8.5 9.6 10.2 11.6 14.6 17.2 19.4 K1-LRS11-3 非常灯評定番号：LALE-006		
X09 LED非常照明 ダウンライト	X13 LED非常照明 ダウンライト	X30 LED非常照明 ダウンライト		
参考品番	参考品番	参考品番	参考品番	参考品番
 電池内蔵型 φ175 防噴流型 保守率：0.92 器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m 単体配置 A1 4.1 4.4 4.5 4.6 3.6 直線配置 A2 9.1 10.1 10.6 11.6 12.5 四角配置 A4 7.4 8.2 8.6 9.5 11.4 非常灯評定番号：LALE-007	 電池内蔵型 φ175 防噴流型 保守率：0.92 器具取付高さ 4.0m 5.0m 6.0m 7.0m 8.0m 単体配置 A1 7.1 7.1 6.5 6.0 6.1 直線配置 A2 17.0 19.1 20.3 20.0 18.8 四角配置 A4 14.0 16.0 17.7 19.1 18.8 非常灯評定番号：LALE-008			
Y13 LED非常照明 ダウンライト	Y30 LED非常照明 ダウンライト			
参考品番	参考品番			参考品番
NNFB91915C	NNFB93916C			

特 記

- 図中記入なき配線は、下記による
-----/----- 新設 EM-EEF2.0-3C(1Cアース線) 天井内
-----/----- 既設 EM-EEF2.0-3C(1Cアース線) 天井内
- 図中太線部分は本工事部分を示し、細線点線部分は既設部分を示す。
- 図中太線部分の照明器具は、原則既設器具と同じ位置でLED照明器具へ更新のこと。
既設吊りボルトのうち状態に問題ないものについては再利用してもよい。
再利用できない、既設照明器具がスラブ等構造体に支持されていない、また支持位置が変更になる場合は、あと施工アンカーにてスラブ等構造体に支持すること。(3kg未満の器具は除く)
構造体からの支持が困難な場合は天井下地からの支持とし、落下防止措置を講ずること。
- 特記無き配管・配線・ボックス類は、既設再用とする。
- 図中  印部分は新設天井点検口(450×450)を示し、 印は既設天井点検口を示す。
- 埋込型器具の取替について、既設器具の開口寸法を確認の上、機種選定を行うこと。
- 殺菌灯(P6)撤去後器具を更新しない箇所は、カバープレート(金属製)で穴埋めを行うこと。
- 連結器具の取替について、必要に応じて適切な連結用器具の選定及び連結金具の取付を行うこと。
- 調理室(揚物・焼物・蒸物調理エリア)及び仕分室は、作業エリア上部へ照明器具を増設すること。
設置場所は施設担当者へ確認の上、決定すること。
- 魚肉下処理室・野菜下処理室・調理室・特別食調理室・和え物室は、全体養生を見込んでいる。
実際に全体養生が必要な部屋を、施設担当者へ確認すること。
- 作業に伴う足場工事・養生・清掃片付け等は本工事とする。
取付高さが3mを超えて4m以下の部分は脚立足場を用いて作業することを想定している。
- 既設施設を使用しながらの工事であるため、既設設備を十分確認し、施設運営に支障が無いよう、日程等を施設担当者及び監督員と調整の上、作業を行うこと。
- 施工中の動線計画及び仮設計画については、監督員と調整の上行うこと。
- 施工前・施工後に照度測定を実施すること。測定箇所は監督員の指示による。
- 天井材の加工が必要な場合は、アスベスト含有の有無を確認し、調査結果の報告を行うこと。



洗浄室
I 3 2 2 ~ 1 5
J 4 0 1 ~ 2
K 2 0 1 ~ 2
Y 1 3 ~ 2
Y 3 0 ~ 1

洗剤備品庫
C 3 2 1 ~ 1

前室 2
A 3 2 2 ~ 1
L 3 2 1 ~ 1

残菜庫
C 3 2 1 ~ 1

洗濯室
C 3 2 1 ~ 2

和え物室
I 3 2 2 ~ 4
P 6 ~ 1
Y 1 3 ~ 1

脱衣
H 3 2 1 ~ 1

廊下
F 1 6 2 ~ 6
X 1 3 ~ 2

特別食調理室
I 3 2 2 ~ 2
P 6 ~ 1
Y 1 3 ~ 1

女子便所
H 3 2 1 ~ 4
M 2 0 1 ~ 2

女子休憩・更衣室
A 3 2 2 ~ 2
H 3 2 1 ~ 1

湯沸室
C 3 2 1 ~ 1

消毒室
A 3 2 2 ~ 1
L 3 2 1 ~ 1
X 0 9 ~ 1

前室 1
A 3 2 2 ~ 2
X 1 3 ~ 1

踏込
G 1 6 1 ~ 2

踏込
G 1 6 1 ~ 1
L 3 2 1 ~ 1
X 0 9 ~ 1

平面図 S=1:100 (改修後)



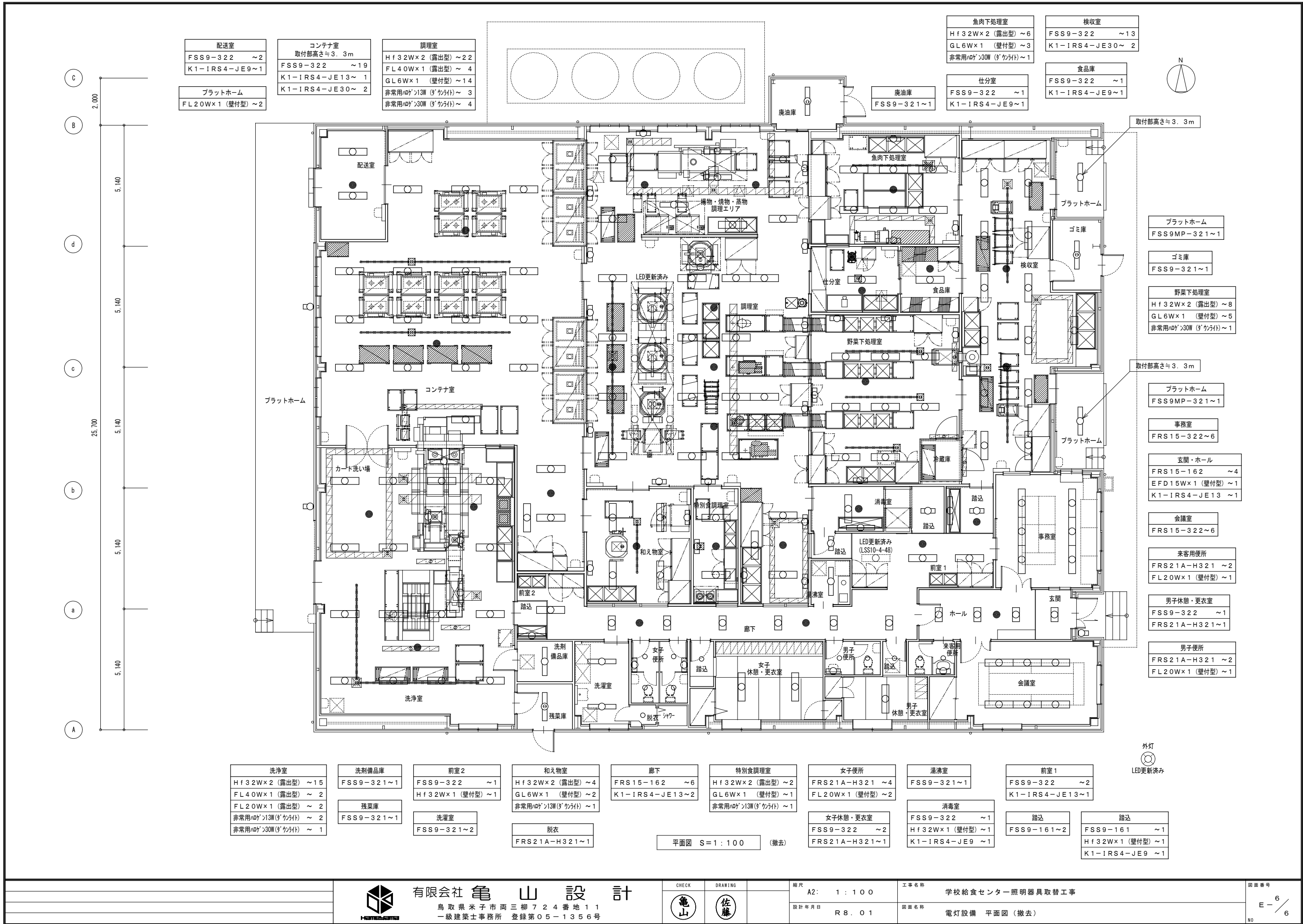
有限会社 亀山設計
鳥取県米子市両三柳724番地11
一級建築士事務所 登録第05-1356号



縮尺 A2: 1:100
設計年月日 R8.01

工事名称 学校給食センター照明器具取替工事
図面名称 電灯設備 平面図 (改修後)

図面番号 E-5/6
NO



有限会社 亀山設計
鳥取県米子市両三柳724番地11
一級建築士事務所 登録第05-1356号



CHECK
DRAWING
縮尺
A2: 1:100
設計年月日
R8.01

工事名称
学校給食センター照明器具取替工事
図面名称
電灯設備 平面図 (撤去)

図面番号
E-6/6
NO